

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人田原学園 浜町幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・それぞれの子ども達が十分に自己を発揮し自己充実する
- ・様々な体験を通して、自分で行動する意欲や態度を育てる
- ・友だちを思いやる心を育てる

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・教育課程の内容を精査し、子どもの視点を意識した興味関心を捉えた活動のカリキュラムを編成していく
- ・形式だけの防災計画、危機管理マニュアルを実態にあわせて見直し、改定していく。
- ・保護者との連携及び父母の会活動のあり方を引き続き見直し、改革していく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
教育課程の見直し	B	保護者の子どもの成長に対する願いと教育効果の捉え方、又、教師の力量のバランスをとるのが難しかった。
危機管理マニュアルの改訂	C	日常の保育の繁忙の中で検討段階で終わってしまった。
保護者との連携	A	コロナ禍以前のような頻繁な保育参観の実施は難しいが、毎月の誕生会の様子など、日常の子ども達の様子の配信は続けた。仕事を持つ多忙な保護者の負担感をなくすため父母の会活動を保護者と共に見直し、再構築していった。

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

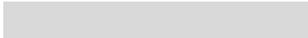
評価	理由
B	一年毎に改善、進歩はしているものの目標には到達しなかった。 教育課程からつながる保育内容については前述したように保護者の願いや教師の保育観や力量のバランスをとるのが本当に難しかった。 それを踏まえて、今後も少しずつでも進めていきたい。

## 5. 今後取り組む課題

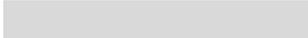
課題	具体的な取り組み方法
ティーム保育の充実	現在、教師の立ち位置としてはベテラン、中堅、若手（新任）また主任、担任、保育補助、正職員、パート職員と多様であり、一堂に会してカンファレンスをすることは難しい面があるが、日頃のコミュニケーションを大切にしながら、より良い保育を目指していく。
特別支援教育	入園してから支援を要することに気付く園児が近年増えてきており、保護者との信頼関係を大切に築きながら、その園児にとって適切な支援の方法を探っていく。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・幼児教育に真摯に取り組まれていることは地域の園に対する評判や来年度の新入园児が前年より増加してきていることから見てとれるところでしょう。
- ・今年度も世間ではノロウイルスやインフルエンザの大流行がありましたが、貴園ではその流行に巻き込まれることなく安定した園生活を送れたことは保護者の意識の高さと先生方の努力のお陰だと大変感謝しています。
- ・また、各行事においては先生方の子ども達に真摯に向きあわれる姿勢とあたたかなまなざしを感じられて、子ども達が伸び伸びと成長していく姿を見せていただき（母親としては）胸が熱くなること度々でした。それから、担任の先生だけでなく、すべての先生方が子どもにあたたかく関わってくださることも貴園のとても良いところだと思います。
- ・預かり保育（ホームクラス）や特に支援を要する子どもたちの急増で園の運営体制も大きく変化していく時が来ていると思いますが、これからも「こどもが真ん中」「こどもファースト」を大事にしたいと思っています。

学校関係者評価委員  印

学校関係者評価委員  印

学校関係者評価委員  印

委員会実施日 令和 7年 3月 15日